

別府市汚泥再生処理センター(仮称)建設工事の事業者の選定に係る客観的評価結果の公表

別府市汚泥再生処理センター(仮称)建設工事の受注者が決定しましたので、その客観的な評価の結果をここに公表する。

平成28年8月23日

別府市長 長野 恭 紘

1 工事名

別府市汚泥再生処理センター(仮称)建設工事

2 建設場所

別府市大字北石垣字祝保1200番

3 工期

本契約成立後発注者の指定する日から平成31年3月15日まで

4 事業範囲

事業者が行う事業の範囲は次のとおりとする。

(1) 実施設計及び施工

ア 施設規模

計画処理量

し	尿	3kL/日
	浄化槽汚泥	72kL/日
合 計		75kL/日
生 ご み		400kg/日

処理方式

水処理系統：浄化槽汚泥の混入比率の高い脱窒素処理方式

資源化系統：汚泥助燃剤化方式

イ 工事の範囲

(ア) 機械設備工事

(イ) 配管設備工事

- (ウ) 電気設備工事
- (エ) 計装設備工事
- (オ) 土木・建築工事
- (カ) 附帯工事
- (キ) 解体・撤去工事
- (ク) その他

(2) その他関連業務

循環型社会形成推進交付金（以下「交付金」という。）申請支援及び本工事等に係る各種許認可申請支援等、事業者が行うべき対応、その他関連業務

なお、別府市（以下「当市」という。）が行う業務は次のとおりである。

- ア 一般廃棄物処理施設の届出
- イ 交付金申請手続き
- ウ 本工事等に係る各種許認可の申請等手続き
- エ その他これらを実施するうえで必要な業務

5 選定方法

事業者の募集及び選定にあたっては、一般競争入札による総合評価落札方式（高度技術提案型）により行う。

(1) 別府市汚泥再生処理センター(仮称)建設工事に係る総合評価審査委員会の設置

事業者の審査は、透明性及び公平性を確保し、専門的知見に基づいた審査評価を行うため、学識経験者等で構成される「別府市汚泥再生処理センター(仮称)建設工事に係る総合評価審査委員会（以下「総合評価審査委員会」という。）」において行った。

表1 総合評価審査委員会

役職	氏名	所属
委員長	塚田俊三	立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部教授
副委員長	阿南寿和	別府市副市長
委員	平田誠	大分大学工学部応用化学科 准教授
委員	荒井喜久雄	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術指導部長
委員	豊永健司	別府市総務部長
委員	工藤将之	別府市企画部長
委員	釜堀秀樹	別府市生活環境部長
委員	狩野俊之	別府市建設部長

(2) 事業者選定までの経過及び総合評価審査委員会の開催経過

表2 事業者選定までの経過及び総合評価審査委員会の開催経過

期間等	内容
平成28年 1月26日(火)	第1回 総合評価審査委員会 (事業概要、事業者選定及び委員会開催スケジュール、要求水準書(案))
平成28年 2月23日(火)	第2回 総合評価審査委員会 (契約方法等、入札説明書(案)、落札者決定基準(案)、様式集(案))
平成28年 3月29日(火)	第3回 総合評価審査委員会 (入札公告(案))
平成28年 4月 8日(金)	入札公告
平成28年 4月11日(月)～13日(水)	現地見学会の参加受付
平成28年 4月18日(月)	現地見学会
平成28年 4月11日(月)～13日(水)	質問の受付(第1回) ・入札説明書等に関する事項
平成28年 4月18日(月)から	質問への回答公表(第1回) ・入札説明書等に関する事項
平成28年 4月21日(木)	入札参加資格審査申請の受付
平成28年 4月25日(月)	入札参加資格審査結果の通知
平成28年 5月 2日(月)～6日(金)	質問の受付(第2回) ・要求水準書等に関する事項
平成28年 5月19日(木)から	質問への回答公表(第2回) ・要求水準書等に関する事項
平成28年 6月 3日(金)	入札書類の受付
平成28年 6月 3日(金)～15日(水)	形式審査の実施
平成28年 7月 6日(水)	第4回 総合評価審査委員会 (技術提案書の審査、ヒアリング実施要領)
平成28年 8月 1日(月)	技術提案書に関するヒアリング、技術提案書の審査
平成28年 8月 1日(月)	開札
平成28年 8月 1日(月)	第5回 総合評価審査委員会 (最優秀提案書の選定、審査講評)
平成28年 8月 1日(月)	落札者の決定
平成28年 8月 2日(火)	落札者の公表
平成28年 8月 8日(月)	仮契約の締結
平成28年 9月 下旬頃(予定)	議会の議決・本契約の締結

6 審査方法

(1) 資格審査

資格審査では、入札参加者から提出される入札参加資格審査申請書等の提出書類を基に、入札参加者が参加資格要件を満たしているかを確認する。本審査は当市が実施し、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

(2) 審査の配点

総合評価を行ううえでの技術評価点及び価格評価点の配点は次のとおりとする。

表3 総合評価の配点

項目	配点
技術評価点	70点
価格評価点	30点

(3) 提案審査

ア 形式審査

形式審査では、入札参加者から提出される技術提案書等が、要求水準書等に規定された水準を満たしているか等の審査を行う。本審査は当市が実施し、書面により不備を指摘してもなお、形式審査項目を満たさない入札参加者は失格とする。

表4 形式審査内容

審査内容
① 技術提案書等の内容が、要求水準書等に示す水準を満たしていること。
② 技術提案書等の内容が、入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件に違反していないこと。
③ 技術提案書等全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間に矛盾等がないこと。

イ 技術審査

技術審査では、形式審査を通過した入札参加者に対しヒアリングを実施し、評価項目に対して技術審査を行う。

技術提案に関する得点化方法については、次のとおり行う。

a 評価項目ごとに、次に示す5段階評価による。

表5 5段階評価

評価	判断基準	配点率
A	提案内容が非常に優れており、かつ、その効果が期待できる。	配点×1.00
B	提案内容が優れており、かつ、その効果が期待できる。	配点×0.75
C	提案内容の効果が期待できる。	配点×0.50
D	提案内容の効果が期待できる程度。	配点×0.25
E	要求水準を満たしている程度	配点×0.00

b 各評価項目の評価点については、各委員の評価点の合計の平均値とし、次の算定式①により求める。なお、平均値は小数点以下第3位を四捨五入した値とする。

算定式①【各評価項目の評価点の算定式】

$$\left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{各評価項目の評価点} \end{array} \right) = \frac{\text{各委員(各評価項目配点} \times \text{評価)の合計}}{\text{総合評価審査委員の人数(8名)}}$$

c 技術評価点

算定式①により算出した各評価項目の評価点の合計とする。

ウ 総合評価

(ア) 入札価格の確認及び得点化

入札参加者から提出される入札書に記載された入札価格が予定価格（消費税及び地方消費税を除く。）を超えていないことを確認する。入札価格が予定価格を超える場合は失格とする。

入札価格については、次の算定式②により価格評価点を算出する。価格評価点は小数点以下第3位を四捨五入した値とする。

ただし、当市が設定する評価対象下限価格以下の価格提示者は、提示金額にかかわらず、価格評価点を満点(30点)とする。

算定式②【価格評価点の算定式】

(1) 入札参加者の最低入札価格 > 評価対象下限価格である場合

$$\text{価格評価点} = \text{配点(30点)} \times (\text{最低入札価格} \div \text{入札参加者の入札価格})$$

(2) 入札参加者の最低入札価格 ≤ 評価対象下限価格である場合

ア 入札価格が評価対象下限価格以下の価格提示者

$$\text{価格評価点} = \text{満点(30点)}$$

イ それ以外の価格提示者

$$\text{価格評価点} = \text{配点(30点)} \times (\text{評価対象下限価格} \div \text{入札参加者の入札価格})$$

(イ) 総合評価値の算定

総合評価値の算定は技術評価点に価格評価点を加えた算定式③により算定し、総合評価値が最も高い提案を行った入札参加者を最優秀提案者として選定する。

なお、総合評価値が最も高い入札参加者が2者以上あるときは、該当者にくじを引かせ最優秀提案者を選定する。

算定式③【総合評価値の算定式】

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{技術評価点} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{価格評価点} \end{array} \right)$$

7 審査結果

(1) 参加資格審査

平成28年4月8日に入札公告を行い、平成28年4月21日に入札参加資格提出届等を受け付けたところ、次の3者から入札参加の申請があった。資格審査にて3者とも参加資格を有することを確認し、平成28年4月25日に全ての入札参加者に対し資格審査結果を書面にて通知した。なお、審査の公平性・公正性を確保するため、最優秀提案者を選定するまでは、企業名を匿名として審査を行った。

表6 入札参加者概要

企業名	日立造船(株) 九州支社	水ing(株) 九州支店	三井造船環境エンジ ニアリング(株)
-----	-----------------	-----------------	-----------------------

(2) 提案審査

ア 形式審査

平成28年6月3日に入札参加者から提出された技術提案書等について、当市が形式審査を行い、提出書類等に不備等がないこと、及び全ての入札参加者について、要求水準書に規定された水準を満たしていること等を確認し、総合評価審査委員会に報告した。

イ 技術審査及び総合評価

総合評価審査委員会は3者の提案書について、総合評価審査委員会にて十分な議論を行ったうえで、入札公告時に示した基準に基づき、各委員が5段階評価を行い、それらを平均した得点を付与した。各提案者の審査結果は、次に示す「加点審査結果一覧」のとおりであり、各提案者の提案について総合評価審査委員会が評価した事項は別紙2に示すとおりである。

なお、入札価格については、総合評価審査委員会での技術評価点の決定を行った後、当市が開札し、その結果を総合評価審査委員会へ報告した。総合評価審査委員会はこれを受けて、入札価格を得点化した。

表7 加点審査結果一覧

◆技術評価点

分類	番号	評価項目	日立造船(株) 九州支社	水ing(株) 九州支店	三井造船環境エ ンジニアリング(株)
全体計画	①	施設計画	4.75 点	6.00 点	4.00 点
処理対象物に適応 かつ安定した処理の できる施設	②	水処理系統	4.69 点	8.75 点	5.94 点
循環型社会の形成 に寄与する施設	③	資源化系統	4.50 点	6.75 点	4.00 点
施設の省エネルギー 化	④	維持管理費	4.25 点	5.50 点	3.75 点
	⑤	点検・整備費	3.28 点	2.97 点	3.13 点
生活環境や景観等 に配慮した施設	⑥	景観対策	3.44 点	3.75 点	2.81 点
	⑦	環境対策	3.59 点	3.59 点	2.97 点
自然災害及び緊急 時に備えのある施設	⑧	災害・緊急対 策	3.75 点	4.88 点	3.19 点
工事計画	⑨	施工計画	3.94 点	4.31 点	3.56 点
	⑩	安全対策	1.59 点	2.06 点	1.59 点
その他	⑪	地域経済の 活性化	3.38 点	4.13 点	4.13 点
技術評価点(合計)			41.16 点	52.69 点	39.07 点

◆価格評価点

項目	日立造船(株) 九州支社	水ing(株) 九州支店	三井造船環境エン 지니어リング(株)
入札価格(税抜き:円)	2,820,000,000	2,895,000,000	2,763,300,000
価格評価点	30.00 点	29.29 点	30.00 点

ウ 最優秀提案者の選定

総合評価審査委員会では、技術評価点と価格評価点の合計を総合評価値とし、総合評価値の最も高い「水 i n g (株)九州支店」を最優秀提案者として選定した。

表 8 総合評価値

項目	日立造船(株) 九州支社	水ing(株) 九州支店	三井造船環境エンジ ニアリング(株)
技術評価点(A)	41.16 点	52.69 点	39.07 点
価格評価点(B)	30.00 点	29.29 点	30.00 点
総合評価値 (A) + (B)	71.16 点	81.98 点	69.07 点

(3) 審査講評

別紙 3 に総合評価審査委員会の審査講評を示す。

8 落札者の決定

当市は、総合評価審査委員会による審査結果を踏まえ、平成 28 年 8 月 1 日に「水 i n g (株)九州支店」を落札者として決定した。

表 9 落札者の概要

企業名	水 i n g (株) 九州支店
-----	------------------

別紙 1 評価項目及び配点

分類	番号	評価項目	評価内容	配点	小計
全体計画	①	施設計画	施設計画(配置計画、車両・維持管理動線、作業環境対策等)について合理的な提案がされているか。	8	8
処理対象物に適切かつ安定した処理のできる施設	②	水処理系統	生物処理による水処理系統の優れた提案がされているか。	10	10
循環型社会の形成に寄与する施設	③	資源化系統	資源化系統(し尿等や生ごみの受け入れから脱水汚泥に至るまでのシステム)の優れた提案がされているか。	8	8
施設の省エネルギー化	④	維持管理費	下水道放流及び河川放流において年間の維持管理費について具体的な提案がされているか。	8	13
	⑤	点検・整備費	プラント機器(建築設備を除く。)の施設稼働後20年間に要する点検・整備費(更新費を含む。)について具体的な提案がされているか。	5	
生活環境や景観等に配慮した施設	⑥	景観対策	敷地全体・施設外観等について周辺の景観に配慮した提案がされているか。	5	10
	⑦	環境対策	周辺の生活環境(騒音・振動・悪臭)に配慮した具体的な提案がされているか。	5	
自然災害及び緊急時に備えのある施設	⑧	災害・緊急対策	地震・水害等への施設機能の強化及び災害時・緊急時等における対応として、効果的な提案がされているか。	6	6
工事計画	⑨	施工計画	合理的な施工計画が提案されているか。 (仮設処理計画・実施工程・品質管理・工事中の周辺環境対策)	6	9
	⑩	安全対策	周辺への安全対策について効果的な提案がされているか。	3	
その他	⑪	地域経済の活性化	地元企業との協力、連携等、本工事を通じて地域経済の活性化、地域貢献について具体的な提案がされているか。	6	6
合計				70	

別紙2 総合評価審査委員会の評価した事項

分類	番号	評価項目	日立造船(株) 九州支社	水ing(株) 九州支店	三井造船環境エン ジニアリング(株)
全体計画	①	施設計画	<p>○処理エリアと管理エリアに用途分けすることで、交錯をなくした安全な車両動線計画を評価した。</p> <p>○作業目的ごとに、移動距離の短い施設運転員の動線の評価した。</p>	<p>○車両によって動線を分けることで、動線の交差がない安全な動線計画を評価した。</p> <p>○機器・部品・薬品等の搬出入に関するメンテナンス性を評価した。</p> <p>○施設運転員への騒音・振動・臭気・安全対策の工夫を評価した。</p>	<p>○広い道路で安全を確保した車両動線計画を評価した。</p> <p>○処理目的・機能別に機器を配置したことによる効率の良い施設運転員の動線の評価した。</p>
処理対象物に適応かつ安定した処理のできる施設	②	水処理系統	<p>○放流水質が優れていることを評価した。</p> <p>○自動制御による効率的で安定した処理を評価した。</p> <p>○受入・貯留設備の槽容量に余裕があることを評価した。</p>	<p>○放流水質が優れていることを評価した。</p> <p>○自動制御による効率的で安定した処理を評価した。</p> <p>○受入・貯留設備の槽容量に余裕があることを評価した。</p> <p>○同処理方式の納入実績があり、第三者機関の性能調査による安定稼働の証明もあることを高く評価した。</p> <p>○余裕のある水処理施設による安定した処理水質が</p>	<p>○放流水質が優れていることを評価した。</p> <p>○自動制御による効率的で安定した処理を評価した。</p> <p>○受入・貯留設備の槽容量に余裕があることを評価した。</p> <p>○同処理方式の納入実績があることを評価した。</p>

				<p>得られることを高く評価した。</p> <p>○硝化槽に対する余裕のある冷却能力を評価した。</p>	
循環型社会の形成に寄与する施設	③	資源化系統	<p>○脱水機の脱水性能が優れていることを評価した。</p> <p>○脱水機の納入実績が相当数あり、助燃剤化の第3者機関の技術評価もあることを評価した。</p>	<p>○脱水機の脱水性能が優れていること及び安定した連続運転をより高く評価した。</p> <p>○脱水機の納入実績及び助燃剤化の実績が相当数あることを高く評価した。</p>	○脱水機の脱水性能が優れていることを評価した。
施設の省エネルギー化	④	維持管理費	<p>○機器の合理的な組み合わせによる維持管理費の低減策を評価した。</p> <p>○維持管理費が安価であることを評価した。</p>	<p>○豊富な運転管理実績による維持管理費の低減策を高く評価した。</p> <p>○維持管理費が安価であることを評価した。</p>	○上下水道量、薬品使用量の削減による維持管理費の低減策を評価した。
	⑤	点検・整備費	○豊富な実績・経験に裏付けされた補修サイクルを評価した。	○提案内容と同様の処理フローの運転管理実績による保全計画を評価した。	○ストックマネジメントを用いた施設保全計画を評価した。
生活環境や景観等に配慮した施設	⑥	景観対策	<p>○北側、西側の周辺住環境からの目線に配慮した緑化率等を評価した。</p> <p>○周辺への圧迫感の低減策等を評価した。</p>	<p>○北側、西側の周辺住環境からの目線に配慮した緑化率等を評価した。</p> <p>○北側マンションの目線に配慮した屋上緑化を評価した。</p>	○北側、西側の周辺住環境からの目線に配慮した緑化率等を評価した。

	⑦	環境対策	<p>○受入室の構造及び設備による臭気対策を評価した。</p> <p>○稼働実績による悪臭物質基準値の運転管理目標値を評価した。</p>	<p>○受入室の構造及び設備による臭気対策を評価した。</p> <p>○施設配置による騒音・振動対策を評価した。</p>	<p>○受入室の構造及び設備による臭気対策を評価した。</p>
自然災害及び緊急時に備えのある施設	⑧	災害・緊急対策	<p>○耐震基準や設備に対する地震時の対策を評価した。</p> <p>○災害時・緊急時のバックアップ体制を評価した。</p>	<p>○耐震基準や設備に対する地震時の対策を評価した。</p> <p>○災害時の協定など、災害時・緊急時のバックアップ体制を高く評価した。</p>	<p>○耐震基準や設備に対する地震時の対策を評価した。</p> <p>○災害時・緊急時のバックアップ体制を評価した。</p>
工事計画	⑨	施工計画	<p>○早期の資源化・脱臭エリアを建設し運用するなど、工夫された実施工程を高く評価した。</p> <p>○実績のある技術者の配置を評価した。</p>	<p>○早期に南棟を建設し運用するなど、工夫された実施工程を高く評価した。</p> <p>○実績のある技術者の配置を評価した。</p>	<p>○仮設における前脱水プロセスの施工実績を評価した。</p>
	⑩	安全対策	<p>○通学路及び地域住民等への工事中の安全・事故防止対策を評価した。</p>	<p>○通学路及び地域住民等への工事中の安全・事故防止対策を高く評価した。</p>	<p>○通学路及び地域住民等への工事中の安全・事故防止対策を評価した。</p>
その他	⑪	地域経済の活性化	<p>○地元企業への発注予定額が具体的に示されていることを評価した。</p> <p>○県産材の利用、地元祭り等への協賛などの提案を評価した。</p>	<p>○地元企業への発注予定額が具体的に示されていることを評価した。</p> <p>○県産材の利用、地元祭り等への協賛などの提案を高く評価した。</p>	<p>○地元企業への発注予定額が具体的に示されており、規模が大きい点を高く評価した。</p> <p>○県産材の利用、地元祭り等への協賛などの提案を評価した。</p>

別紙3 審査講評

本事業は、昭和44年の供用開始後、施設全体の老朽化が進行している「し尿処理場春木苑」の更新事業として、循環型社会の形成に寄与することを目指し、有機性廃棄物リサイクル推進施設である「別府市汚泥再生処理センター（仮称）」を建設するものである。

事業者の選定にあたっては、一般競争入札による総合評価落札方式（高度技術提案型）により行うこととなり、透明性及び公平性を確保し、専門的知見に基づいた審査評価を行うため、総合評価審査委員会が設置された。

総合評価審査委員会では、要求水準書、評価項目及び落札者決定基準等の審議を行い、また入札参加者へのヒアリングによる技術提案書等の審査を厳正かつ公正に行い、技術評価点に価格評価点を加えた総合評価値が最も高い「水 i n g (株)九州支店」を最優秀提案者として選定した。

入札に参加した3者は、いずれも入札公告時に公表した要求水準書を上回る総合的な技術力が注がれた高度な提案であった。全ての入札参加者の本事業への真摯な取り組みと尽力に対し、総合評価審査委員会として敬意を表するとともに感謝を申し上げるところである。

最後に、総合評価審査委員会では、建設される別府市汚泥再生処理センター（仮称）が住民に受け入れられる安心で快適な施設となることを願うとともに、最優秀提案者として選定された「水 i n g (株)九州支店」に対し本事業の実施にあたり以下の点に特に留意することを要望する。

記

- 1 安全・安心な事業の遂行を市と連携・協働して着実に実施すること。
- 2 本事業は既存施設での処理を継続しながら現有敷地内でスクラップアンドビルドにより工事を施工するため、既存処理施設の機能や安全対策等に細心の注意を払うこと。
- 3 技術提案書等の設計・工事にあたっては、市と十分に協議すること。特に、各設備配置、維持管理動線計画、搬出入車両等の安全管理等に留意するとともに周辺住民の生活環境に十分配慮すること。
- 4 施設引き渡し後も、技術提案書等に記載された品質、性能の十全な確保を図るべく、市の求めに応じ、必要な技術上、運営上のアドバイスを可能な範囲で提供すること。
- 5 地元企業との協力、連携等、本工事を通じて地域経済の活性化、地域貢献について、提案内容を誠実かつ確実に履行すること。なお、本事業の地元に対する経済効果を十分把握し、地域経済の活性化・地域貢献の更なる拡充に積極的に取り組んでいただきたい。

別府市汚泥再生処理センター（仮称）建設工事に係る総合評価審査委員会
委員長 塚田 俊三